

第3章 まちづくりの方針

市が、今後10年間に取り組むべき施策を、基本政策である「自治力の拠点づくり」、「暮らしの拠点づくり」、「やすらぎの拠点づくり」、「活力と交流の拠点づくり」、に基づき体系的に示します。

1 自治力の拠点づくり

地域のことは地域で決定する自治の能力を高めるため、市の行財政を効率化します。同時に、住民自治の拠点として、あるいは暮らしに安心感をもたらす住民サービスの提供者として、新たな市役所を創造していきます。また、多様な主体の参加により住民自ら地域を作る、新しいコミュニティを創造します。同時に、外国籍住民が多い地域性を強みとして、開かれた地域を創ります。

こうした取り組みにより、地域に活力と安心感を提供します。

- 効率的で温かみのある市役所の創造
- 住民参加のまちづくり
- 多様な文化とのふれあい

2 暮らしの拠点づくり

道路や公共交通機関など、生活基盤の整備を進め、生活環境を向上させ、安心感を更に高めて、こころ豊かな暮らしを実現します。生活基盤については、住民の利便性の向上と魅力と潤いのある住環境を提供します。また、ごみや環境問題については、住民の快適性の向上はもちろん、省エネルギーなど住民が環境保全への貢献を感じられる市を目指します。加えて、住民に安全と安心を提供するため、地域との連携による防災・防犯体制を整備します。

こうした取り組みにより、住んでみたい、暮らしてみたい市を創っていきます。

- こころ豊かな暮らしへの舞台づくり
- 快適で環境に配慮した社会の実現
- 安全・安心の地域づくり

3 やすらぎの拠点づくり

市民の福祉の充実、学校教育、生涯教育を充実させ、地域にやすらぎをもたらします。福祉の分野では、出産から高齢者にいたる全てのライフステージ^{*}で安心して暮らせる

^{*}ライフステージ 人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階のことを言います。家族については新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期などに分けられます。

市を目指します。教育分野では、児童・生徒のまごころをはぐくむ教育と、あらゆる世代の学ぶ意欲に応える生涯学習体制を提供します。

こうした取り組みにより、住民の地域への愛着を高め、我が家としての中央市を創出します。

- 生きがいと安らぎの福祉
- 健やかな暮らしの実現
- 安心と信頼の医療体制
- まごころをはぐくむ教育
- あらゆる世代への学びの提供

4 活力と交流の拠点づくり

商工業や農林業などの産業振興を図り、地域に豊かさをもたらします。工業では、山梨大学との連携や企業誘致により、山梨県における工業の中心地としての地位を維持します。商業では、店舗同士の連携により地域全体の底上げを目指します。農林業では、地域特性を生かした振興を図るとともに、観光分野における地域資源としても活用していきます。

こうした取り組みにより、市民の雇用環境を充実させるとともに、市の収入となる地方税の増収を図ります。

- 明日を担う商工業の振興
- 新たな視点での農林業の活性化
- 連携と挑戦の観光振興



第1次中央市長期総合計画 基本構想体系図

市の将来像

実り豊かな生活文化都市

基本政策

自治力の拠点づくり

暮らしの拠点づくり

やすらぎの拠点づくり

活力と交流の拠点づくり

基本施策

効率的で温かみのある市役所の創造

住民参加のまちづくり

多様な文化とのふれあい

こころ豊かな暮らしへの舞台づくり

快適で環境に配慮した社会の実現

安全・安心の地域づくり

生きがいと安らぎの福祉

健やかな暮らしの実現

安心と信頼の医療体制

まごころをはぐくむ教育

あらゆる世代への学びの提供

明日を担う商工業の振興

新たな視点での農林業の活性化

連携と挑戦の観光振興